

令和5年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立大森第四中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

【第二学年】

- ・ 文学的文章の読解を強化し、登場人物の心情の変化や、場面と描写を結び付けて、内容を解釈することで、文学的な文章の内容を読み取る領域のスコアが改善した。

【第三学年】

- ・ 漢字の書き・読み取りが、他の領域に比べて正答率が低い傾向であった。対策として、授業の中で漢字の学習に力を入れてきた。その結果、スコアが改善した。

(2) 課題

【第一学年】

- ・ 我が国の言語文化に関する事項が他の正答率と比べて低い傾向がある。

【第二学年】

- ・ 「知識・技能」の問題、言葉の特徴や使い方に関する事項の正答率が目標値を下回り、他の正答率と比べても低い傾向がある。

【第三学年】

- ・ 我が国の言語文化に関する事項が目標値を下回り、他の正答率比べて低い傾向がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	目標スコアを8.2ポイント上回っている。	/	/
第2学年	目標スコアを2.6ポイント上回っている。	(第1学年時) 前年度より1ポイント下回った。	/
第3学年	標準スコアを4.7ポイント上回っている。	(第2学年時) 前年度より0.2ポイント上回った。	(第1学年時) 目標スコアを上回った。

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読み書きの能力や語彙力を育成するために、漢字練習の際には類義語や対義語など派生した学習を日々行う。	我が国の言語文化に関する事項がやや弱いため、古典作品に親しむ活動を重視し、より深い理解ができるような指導を行なう。	協働的な学びの機会を多く設定し、思考を広げ、深めるための時間を確保する。また、議論を生徒同士で展開し学びを深めていく力を高めていく。单元ごとに振り返りシートを活用し、意見を共有し深い学びにつなげていく。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の知識が不十分であり、発展的な学習や類義語や対義語など派生的な言葉も理解させていく。文法・語句の知識についても継続的に指導していく。	文学的文章の読解よりも説明的な文章の読解の方が弱いので、文章の構成や論理的な文章の成り立ちについて指導する。実際に自ら論理的な文章を書くことも行う。	協働的な学びの機会を多く設定し、思考を広げ、深めるための時間を確保する。また、議論を生徒同士で展開し学びを深めていく力を高めていく。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の知識が不十分であり、発展的な学習や類義語や対義語など派生的な言葉も理解させていく。	情報の扱いに関する領域がやや弱いので、図や表などと文章を結び付け、理解したことをもとに、自分の考えを整理する活動を中心に行う。実際に自らの考えを文章で書くことも行う。	協働的な学びの機会を多く設定し、思考を広げ、深めるための時間を確保する。また、議論を生徒同士で展開し学びを深めていく力を高めていく。